

>> さいたま市 様の場合

エコドライブアドバイザー証を生かした取組として、さいたま市では市内エコドライブ講習を開催しました。

エコドライブ活動の成果として、次のような報告をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

さいたま市職員エコドライブセミナー

日時：平成24年 3月 8日 (木) 9:30~11:30 (第1組)  
14:00~16:00 (第2組)

会場：さいたま市職員研修センター 講堂

主催：さいたま市環境局環境共生部環境対策課

参加者：計 276名 (第1組 136名、第2組 140名)

内容：(1) 主催者発表  
「さいたま市のエコドライブ活動について」  
環境局 環境共生部 環境対策課 大気交通係

※ エコドライブ推進の背景と、これまでの取組を紹介し、その成果をグラフ等により明示しました。また、今後の本市におけるエコドライブ活動の新しい目標について説明し、協力いただくよう、お願いしました。

(2) 基調講演  
「自治体職員向けエコドライブ推進のポイント」  
講師：(株)アスア 若子 賢治 氏

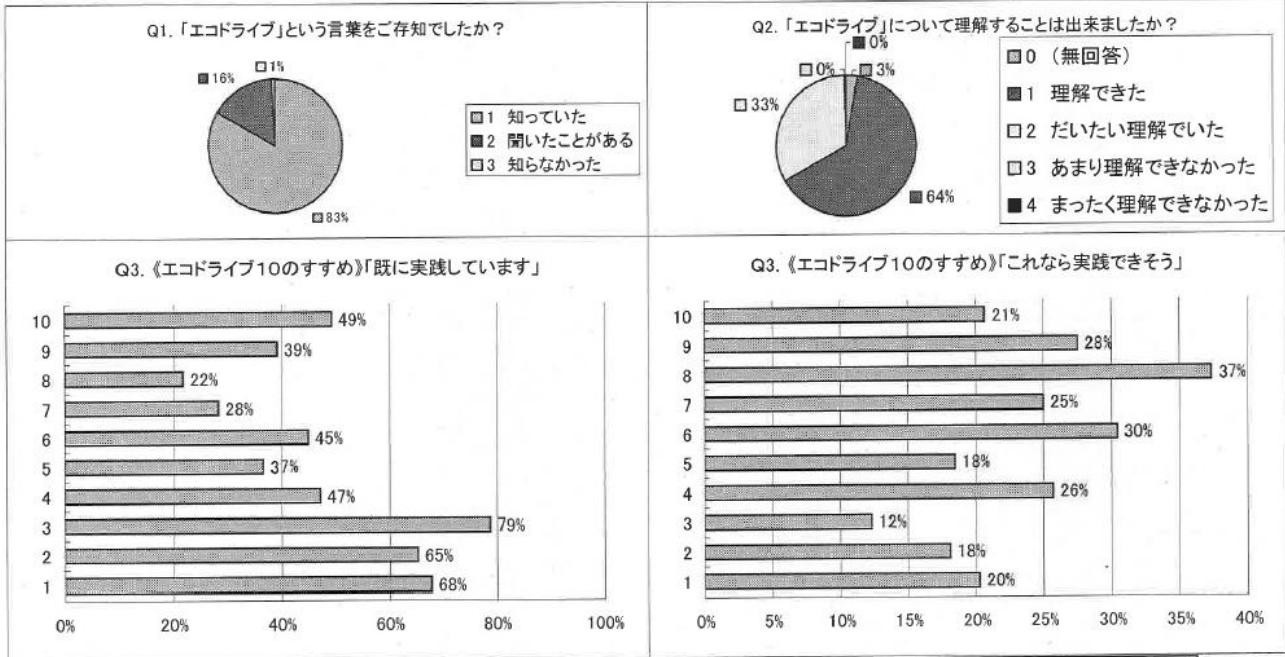
※ エコドライブを実践するにあたり、必要となる知識について理解し、職員自らが率先して公私ともにエコドライブに取り組むエコドライバーとなることを目標として、ポイントごとに質問を交え、分かりやすく解説していただき、参加者に対し、エコドライブをより身近に感じてもらうことができた。

開催風景：





アンケート結果：



- 《エコドライブ10のすすめ》
- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1 ふんわりアクセル『eスタート』 | 6 暖機運転は適切に         |
| 2 加減速の少ない運転       | 7 道路交通情報の活用        |
| 3 早めのアクセルオフ       | 8 タイヤの空気圧をこまめにチェック |
| 4 エアコンの使用を控えめに    | 9 不要な荷物は積まずに走行     |
| 5 アイドリングストップ      | 10 駐車場所に注意         |

主な意見

自家用車でも実践したいです。	空気圧ゲージを配布してはどうか。
緊急走行時においても、ふんわりアクセル5秒20km/hは実施可能。	実車体験ができるとう良い。
エコドライブの基本的な事項と実践的な内容を学ぶことができた。	開催時期が悪い。
定期的にタイヤの空気圧チェックを実施していきたい。	現在の運行記録票は給油が月1回だと燃費確認が行いにくい。
車の発進と停止の大切さがエコドライブにつながる。	市の取り組みについて市民へのアピールが不足。
エコドライブ10のすすめについて、今後の運転の参考としたい。	エコドライブ10のすすめについて個々に詳細な説明がほしかった。
燃料費のコスト削減と事故削減に役立つ。	ガソリン10あたりの走行距離の経年変化がわかるとイメージがつかみやすい。
環境面だけでなく、経済効果も大きいという側面を強く実感した。	受講対象者を広げてみては。
エコカーでもエコドライブが必要であるという意識は重要。	資料の印刷が不鮮明。
暖機運転やエアコンの操作方法について再認識した。	eラーニングを活用してみては。
燃費を所内のホワイトボードに書いてみます。	天然ガス車とガソリン車の比較を知りたい。
市の取り組みに協力できるよう心がけたい。	現実の走行ではあおられる。
講師の説明が良かった。	燃費ベストカーを毎月発表してみては。
職場で啓発していきたい。	心に余裕がないと実践できないと思う。
市職員として民間をリードするエコドライブを心がけたい。	公用車利用を控える取組みも必要では。
人に優しいエコドライブを実践していきたい。	交通事故低減(51.2%)は疑問である。
エコドライブは安全運転につながる。	停車時にシフトNを勧めていたが、アイドリングストップと(N)は別物ではないか。
普段の運転でのCO2排出量の多さに気付いた。	被害者のために事故は語るべきで、エコのために語るものではない。
燃費データを数値にするのは良い考えだと思う。	緊急走行中であっても、安全運転は必須。
職場では難しいので、自宅で実践したい。	運行記録票に空気圧項目を入れてみては。
継続することの難しさを感じた。	エコドライブの日に空気圧チェックを呼びかけてみては。

多くの方から、エコドライブの重要性や、日頃の業務や運転に生かしたい、との声をいただきました。